

経営比較分析表（平成30年度決算）

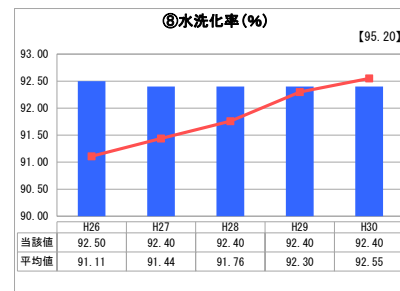
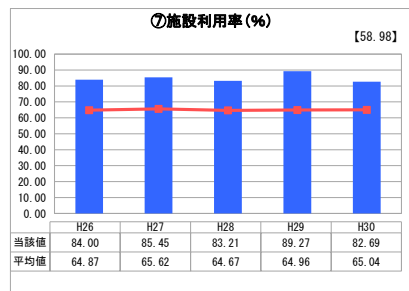
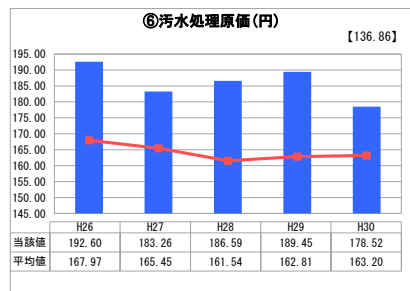
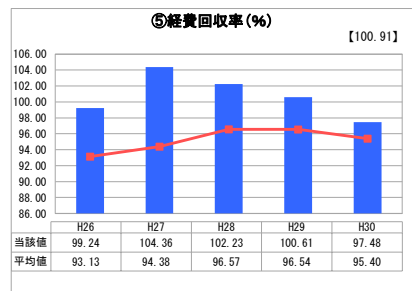
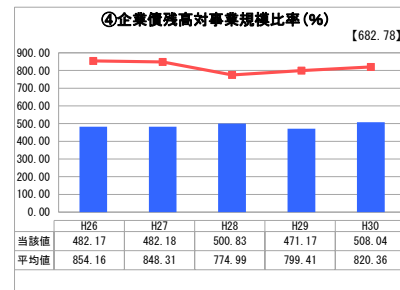
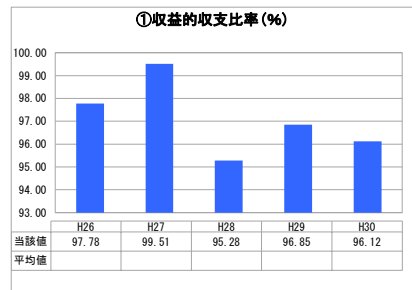
千葉県 茂原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	34.61	83.35	3,024

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
89,751	99.92	898.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
30,951	8.25	3,751.64

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

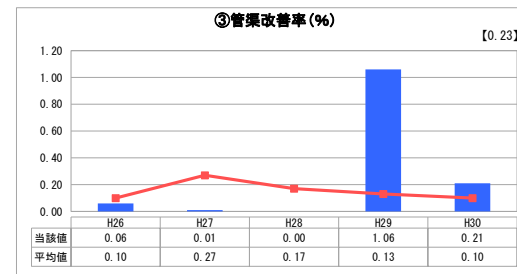
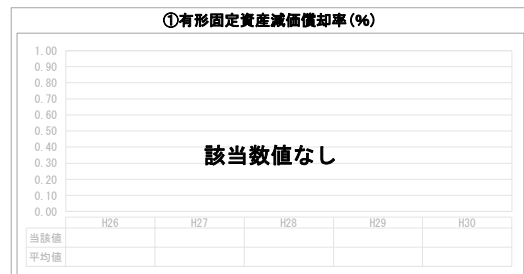
1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、100%に満たないため引き続き経営改善が必要である。
 ④企業債残高対事業規模比率については、全国平均値比較、類似団体比較においてともに下回っている。
 ⑤経費回収率は100%をやや下回っているが、これは令和元年度の公営企業会計移行に伴う打ち切り決算により、下水道使用料の決算額が例年より少ない影響を受けており、使用料水準はほぼ適正と考えられる。
 ⑥汚水処理原価については、全国平均値比較、類似団体比較においてともに上回っているという状況にあり、効率的な汚水処理、有収水量増加の取組等の経営改善が必要と考えられる。
 ⑦施設利用率については、全国平均値比較、類似団体比較においてともに上回っており、現有施設の規模はほぼ適正と考えられる。
 ⑧水洗化率については全国平均値、類似団体比較においてともにやや下回っており、分析・向上の取組が必要と考えられる。

2. 老朽化の状況について

昭和47年に供用開始した終末処理場を筆頭に、管渠、ポンプ場等施設の老朽化が進んでいる。平成30年度に策定したストックマネジメント実施計画等に基づく計画的な改修更新により対応していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和元年度の公営企業会計移行に伴う打ち切り決算等の影響により、各指標の数値が多少変動しているものの、全体として例年と比べ大きな変動はない。老朽化対策によるコスト増や将来の人口減等を鑑み、適切な経営戦略の策定を含め、健全かつ持続的な事業運営を可能とするための取組が必要と考えられる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。